

第3種 久遠漁港 (北海道せたな町)

せたな大成地域マリンビジョン策定

くどう 久遠地区特定漁港漁場整備事業計画

檜山北部圏域
流通拠点



現状と課題

- ・消費者への安全・安心な水産物供給を図る上で、漁獲物への異物混入、直射日光、雨水等による鮮度低下などが懸念されている。
- ・近年の台風・大型低気圧等に伴う越波や静穏度不足から漁船や陸上施設等の損傷、用地の冠水等の被害が発生している。また、静穏水域の不足により、つくり育てる漁業の取組の進展に支障を来している。

港 勢 (H29港勢調査)

登録漁船: 21隻
 利用漁船: 106隻
 (内、外来漁船: 85隻)
 属地陸揚量: 274トン
 属地陸揚金額: 1.8億円
 主な魚種: スルメイカ、ウニ類
 組合員数: 11人

◎久遠漁港の役割

- ・周辺海域で操業する道内外からのイカ釣り漁業の日本海有数の陸揚げ拠点
- ・札幌圏や全国の消費地へ出荷される流通拠点

主 要 対 策



主な整備方針

- ・漁獲物への異物混入を防止するとともに鮮度保持を図り、高度な衛生管理対策を推進するため、屋根付き岸壁の整備を行う。
- ・港口からの進入波や防波堤・護岸からの越波を抑制し、港内静穏度の向上を図るため、防波堤や護岸の整備を行う。また、防波堤の整備にあたっては、自然調和型とすることで、水産生物の生育環境の創造を図る。創出された静穏水域においては、つくり育てる漁業への活用が期待される。

基本事項

全体事業費: 83.2億円
 事業期間: H14~R3

主要な対策①: 衛生管理対策

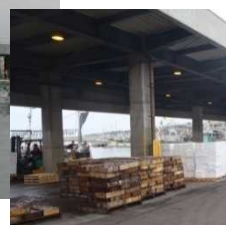


野天でのスルメイカ取扱い状況



屋根付き岸壁でのスルメイカ取扱い状況

衛生管理の高度化を推進



主要な対策②: 越波・静穏度対策



防波堤越波状況



越波による陸上施設被災状況

漁業活動の安全確保のため、越波対策・静穏度対策が急務